

若手研究者コラムリレー

神門 大輔 (こうど だいすけ)



プロフィール

所属: 高知大学教育学部 保健体育教育コース
高知大学大学院 スポーツ・芸術文化共創専攻
職位: 助教
専門分野: 発生運動学
生年月日: 1995年6月3日

兵庫県西宮市出身
2020年 東京学芸大学大学院 修士課程 修了
2020年~2023年 東京学芸大学非常勤講師など
2023年~現職
E-mail: kodo@kochi-u.ac.jp



わたしの研究

地域に根差した体操指導の実践

私は4歳から体操を始め、大学生まで競技を続けておりました。実家の近所に体操競技器具の揃ったクラブがあり、小学1年生の頃に大会出場を目指す[選手クラス]に入れてもらったことで、私は体操を長く続けることとなりました。そのクラブで高いレベルの専門的指導を受け、体操の魅力を深く感じることができました。現在、私が住む高知県は体操クラブの数が少なく、体操競技人口は全国最下位です。子どもたちが体操に触れる機会は少なく、将来的な競技者育成にも影響を与えています。しかし、高知県内中心部から離れた地域で出張体操教室を開講してみると、子どもたちはとても楽しそうに取り組んでくれます。保護者の方々も「本当は体操教室などに通わせたいけど近くにないから…」とおっしゃっています。私は体操に触れる機会が身近にあり、その楽しさを十分に味わうことができたことを、とても幸運なことであったと実感しています。

私は、発生運動学という専門分野から体操指導について研究しています。発生運動学では、学習者がどのように新しい動きを体得していくのかを研究する分野で、コツやカンに着目し、動きの感じを現象学の立場から考察します。特に、**[体操になじみのない子どもたちへのアプローチの仕方]**や**[定期的な指導を受けられない子どもへの指導の仕方]**などといった、高知県内の地域課題に即した体操指導の方法を検討し、実践しています。

わたしの渾身の論文・書籍・記事

必読

神門大輔・仲宗根森敦(2020)倒立静止の指導に関する発生運動学的研究—体操競技初心者の男子大学生を例に—, 東京体育学会, 第11巻

(なんでも帳)

【体操競技部顧問として】

高知大学教育学部は、明治7年創立の陶冶学舎に始まり、今年で150周年を迎えました。私が顧問を務める体操競技部もかなり古くから存在していたと考えられますが、詳細はわかりません。前任の先生に伺うと**体操競技部の創設時期については不明**で、過去に部員が途絶えたこともあったようですが、何とか継続されてきたようです。今は男子2名の小規模団体ですが、活動を行っています。前述した通り、高知県で体操の普及に力を入れていくにあたり、高知大学体操競技部の存在は必要不可欠だと考えております。卒業生のお力も借りつつ、体操競技部を存続させていきたいと思っております。

【体操競技が生涯スポーツ！？】

体操競技は小さいころから始めていないと…と思われることが多いですが、大学から始める人も多くいます。また、**60歳を超えても体操競技を継続している方もおり、生涯スポーツとしても楽しまれています**。体操の魅力はここに書ききれないほど豊富です。子どもから大人まで、多くの方々が「**体操って楽しい！！**」と感じてもらえる機会を多く作れたらと思っています。運動部活動の顧問をされている方や地方でご活躍されている方はぜひいろいろとお話をお聞かせください。

日本体育・スポーツ・健康学会
若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育・スポーツ・健康学会若手の会が発足しました！→ [メーリングリスト登録フォーム](https://goo.gl/forms/zGMPdPa5fY3kcB5a2)：
<https://goo.gl/forms/zGMPdPa5fY3kcB5a2>



学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

taikugakkaiwakate@gmail.com